AsahiKASEI
旭化成ホームズ株式会社

ヘーベルハウス
2.5世帯ものがたり
～第１話～

姉のメリットと妻の気遣い。

「姉は同居を拒むだろうか？」

八月十三日。帰省する車の中、助手席の妻に何度も不安をつぶやいていた。「え？なんか言った？」「ロンドン終わってつまんな～い」「まだ着かないの？」「ｚｚｚ」無関心をよそおう、妻の気遣いがありがたい。僕の名は吉田貴則、三十五歳。会社では副主任を担い、出世街道の左側レーンを快走中だ。一方、家庭では三つ年下の可愛い妻と、六歳の長男、四歳の長女の四人家族の家長である。僕たち家族は、実家の土地で両親との二世帯同居を前向きに考えていた。七十をひかえた両親のこと。僕ら共働き夫婦での育児のこと。先の見えない景気のこと。震災など有事への不安。いろんなことを総合的に現実的に考え抜いた僕の結論だ。うれしいことに妻はそれほどいやがることなく（ブランドバック一つで手を打ち）賛同してくれた。電話で話した父と母も、おおむね同意してくれた。ただひとつ、懸念があった。実家には今年三十八になる独身の姉がいる。仕事も第一線、オシャレも恋愛も自由に謳歌する現役ガールな由紀子姉さん。彼女は僕たち家族との同居を受け入れてくれるだろうか？もちろん姉にもメリットはある。僕らのローンで新築に住める。（資金の援助はお願いしたいが。。）将来的な両親のサポートを協力し合える。妻に服を自慢できる（＝妻のデメリット笑）。暇なとき甥や姪と遊べる（やっぱりこれでしょ！）。姉さん、親世帯とその単身の子、そして子世帯が同居する新しい二世帯を「2.5世帯」と言うらしいよ。いま注目されてるんだ。好きだろ？昔から時代の先取り。キュロットスカートも町内でいち早くはきこなした、僕らのトレンドリーダーじゃないか。「ヘーベルハウスの2.5世帯住宅」。気づけばそう口にしていた。「なに急に？広告みたいに。気持ちわるい」無関心をよそおう、妻の気遣いがありがたい。「ねぇ、まだ着かないの？」

（明日予定の広告紙面に）つづく

2.5世帯住宅で、暮らしませんか？

考えよう。答はある。
ヘーベルハウス

資料のご請求はフリーダイヤルまたはホームページでお気軽にお申し込みください Free Call 0120-917-555 電話受付時間／10:00～17:00（火曜・水曜定休日）※地域により留守番電話になっている場合がございます。 http://www.asahi-kasei.co.jp/hebel/
［個人情報の利用目的について］お問合わせ・資料請求でいただいた個人情報は ●カタログ・資料の送付、見学会・セミナー等の各種イベント等のご案内 ●建築計画の提案、図面・書類等の作成のための各種調査・サービスのご提供 ●商品やサービス等の開発・改善のためのアンケート調査の実施等に利用させていただく場合があります。詳しくは「プライバシーポリシー」として弊社ホームページにて公表しています。
40 HEBEL HAUS 40th ANNIVERSARY